

<レポート>

平成14年度全国環境研協議会騒音振動担当者会議報告

平成14年9月9日(月)に神奈川県自治会館(横浜市中区山下町75)において、平成14年度全国環境研協議会騒音振動担当者会議が開催された。北は北海道から南は沖縄県まで、全国の44機関、57名の参加者があった。

騒音振動担当者会議は全国的規模での騒音振動に関する情報交換の場の少ないことから、東京都環境科学研究所の提案により、平成12年度に第1回目が開催され、今年度で第3回目を迎えた。この会議は、正式には全国環境研協議会企画部会の事業の一つであるが、行政機関からの参加も大いに歓迎し、今年度は12の行政機関から16名の参加者があった。

会議の内容としては前半、全国環境研協議会会員各機関から、今日の課題の研究など5課題の発表が行われ、後半は特別講演として、環境省から騒音行政の現状、課題および展望などについて、2課題の発表が行われた。

最近、環境問題というと「地球温暖化」、「化学物質」、「廃棄物」、「自然との共生」などの問題がクローズアップされ、騒音振動問題は、脇に置かれる傾向にあるが、現実には騒音振動問題は、身近な感覚公害としてその苦情件数も多く、社会生活に深く関わりを持つ「一般的・広域的」な環境問題の一つであり、行政が取り組むべき多くの課題を内包している。この会議の演題にもそのことが反映されているようであった。

近年の社会情勢による行政改革の一環として各機関で人員削減が求められ、ますます厳しい環境下にあるが、この状況を打開するために、各機関相互の情報交換の場として専門分野ごとの分科会の重要性が増しているように思われる。その面で、今年の会議は有意義な情報交換の場になったようである。

会議の最後に千葉県環境研究センターの石井皓氏から次期開催県としてごあいさつをいただき、盛況のうちに会議を終了した。

会議終了後、会議参加者の半数近くの方のご出席により交流会が催され、各機関が抱えている問題点や取組みなどについて、忌憚のない意見交換が行われた。

最後になりましたが、会議の開催に際しご協力を頂きましたご講演者、座長および関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

なお、会議次第は次のとおりである。

会議次第

司会 神奈川県環境科学センター 藤掛 敏夫

●開催県挨拶

神奈川県環境科学センター 片桐 佳典

●一般講演

座長 千葉県環境研究センター 石井 皓

- (1) 環境音認知の比較—視覚障害者と健常者—
横浜市環境科学研究所 鹿島 教昭
- (2) 宮城県における環境騒音評価システムについて
宮城県保健環境センター 菊池 英男
- (3) 「環境基準の評価から除外すべき音」の取り扱いについて(道路に面する地域)

全国環境研協議会関東甲信静支部騒音振動専門部会研究連絡会平成13年度幹事

長野県衛生公害研究所 内田 英夫

- (4) 住民参加の音環境事業—音環境事業「ちば鐘の音マップ」から「千葉市サウンドマップへ—
千葉市環境保健研究所 松島 貢
- (5) 名古屋市域における新幹線鉄道騒音の変遷
名古屋市環境科学研究所 樋田 昌良

●特別講演

座長 東京都環境科学研究所 末岡 伸一

- (1) 騒音行政の課題と展望
環境省大気生活環境室 石井 鉄雄
- (2) 新幹線鉄道騒音対策と騒音の現状
環境省自動車環境対策課 楠元 哲彦

(神奈川県環境科学センター 石井 貢)